



施工直後

大分県1（表土を利用）



9ヵ月後



施工直後

大分県2（表土を利用）



5年8ヵ月後



施工直後



4年後



資源循環型緑化工

リサイクルアースグリーン工法[®] PAT



リサイクルアースグリーン工法 (Recycle Earth Green:REG工法) は、生育基盤の主材料に現場発生土を使用する資源循環型緑化工法です。

特長

- ◆ 崩壊土砂や掘削土を活用して資源循環
- ◆ 粘性土から砂質土まで幅広い現場発生土が利用可能
- ◆ 現場発生土の場外搬出量を減らしてCO₂排出量を削減
- ◆ 従来の植生基材吹付工と比較してCO₂排出量を約36%削減
- ◆ 短繊維材を混合した現場発生土の活用により金網張工を省略してコストを削減
- ◆ 侵食防止剤と団粒化剤を組み合わせる優れた耐侵食性を発揮
- ◆ 急速緑化から在来種による自然回復緑化まで幅広く適用可能

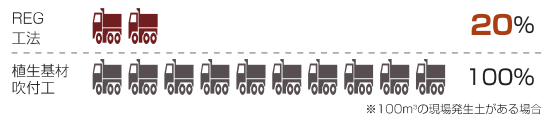
リサイクルアースグリーン工法の特長の相対比較

(市場単価の対象工法を100とした場合)

コストダウン



場外搬出土量



CO₂排出量



使用材料

REG工法の標準配合

(1m² 当り)

材 料	規 格	単 位	現場発生土の分類		
			粘性土	中間土	砂質土
現 場 発 生 土	25 mmアンダー	L	800	800	800
短 繊 維 材	レミファイバー	L	80	80	80
REG改良材A	高分子吸水材	kg	3	3	3
REG改良材B	無機質系土壌改良材	kg	400	200	0
REG改良材C	有機質系土壌改良材	L	400	600	800
緩 効 性 肥 料	化成肥料	kg	4	4	4
REG添加剤α	侵食防止剤(粉末状合成樹脂)	kg	2	2	2
REG添加剤β	団粒化剤(水溶性合成高分子)	kg	0.2	0.2	0.2
種 子	現場に応じて配合設計	式	1	1	1

※現場発生土の性状により材料配合を調整する場合があります。

REG工法の資源循環型緑化システム

REG工法は、現場発生土を施工プラントで植生基材の主材料に資源循環して活用する地球にやさしい緑化システムです。

- ①災害で発生した崩壊土砂や掘削土砂を場外搬出せず有効活用します。
- ②トロンメルで掘削土砂をふるい分けします。
- ③現場発生土の土質に応じた土壌改良を行います。
- ④吹付機からエア圧送する基材に団粒化剤水溶液をノズル手前で合流させて吹付けします。



施工システム

REG工法の標準プラント

発生土ふるい分けプラントと基材調整プラントを一体化する施工システムが標準ですが、両プラントを分離して施工することもできます。

